

## アマダイ通信NO.63

(Tile fish network letter)

07年ハタハタ漁解禁？


### 知人・友人各位

今年も残り少なくなりました。皆さん元気にお過ごしでしょうか？大腸癌も主治医から早目の完治宣告をいただきましたが、還暦を過ぎると、あらためて人生の残された時間の長さ、短さを感じます。友人に誘われ、木材産地の故郷能代に、おが屑を使った搬送用パレットを製造・販売する会社を立ち上げようと、昨年から格闘、還暦からの起業を楽しんでいます。故郷の町興し、森林資源の有効活用と再生に役立つことができれば、幸甚です。

### 生かされて・・・


12月8日名古屋へ出張の折り、滋賀の草津に足を伸ばし、知人のNさんを見舞う。背中が痛いと言ったら、心臓の弁が石灰化し、半年以内に手術をしなければと言われたという。そこで手術例の多い8百床の大病院、草津総合病院の院長に執刀してもらおう。

メスで胸骨を縦に裂き、万力で押し上げ、血管を切断、人工心肺に繋いで人工的に生命を維持、胸骨の裂け目から心臓を取り出す。取り出した心臓はまな板の上に置かれた焼鳥のハツのように、手術台の上で切り裂かれ、石灰化した弁は取り外し、人工の弁に置き換え、再び胸骨の間から体内に戻す。血管も1ミリ間隔で縫い合わせ、引き裂かれた胸骨も合わせ、ワイヤで縛り元に戻す。胸の縫い目だけを残して8時間の大手術は無事終了、心臓は自力で再び鼓動を始め、Nさんは生き返る。

術後2週間経過して元気になったNさんと、昔なら二人とも生きてなかったね！と生かされていることを確認。思えば、も大腸癌を手術して4年半。三楽病院の主治医の阿川先生からは4年経過時点で「完治ですね」と言って頂いたが、病巣は大腸から更に周辺のリンパ節3箇所に移り、「殆ど治癒の見込みなし」(岩波新書「胃がんと大腸がん」)という、大腸癌ステージ bであった。或いは変わらなければいけないのではないかと思いつつ、術前と何ら変わらぬ生活が出来る自分に、己の悪運？の強さと、医学の進歩、幾多の先達の努力、スタッフの苦勞、社会システムの進化等を思い、その全てに感謝する。失った筈の命、この世に存在しない筈の自分であれば、多少とも人の役に立ち、他人との関係を確認しながら生きて行きたい！その思いを強くする。

### あと何年生きる？難しい老後設計、姥捨て山は今も？

取りあえず命拾いすると、次は生かされた余生をどう生きるか？何年生きられるか？が問題になる。子供の教育や住宅ローンの支払いと違って、エンドがわからないのが難しいが、不幸中の幸いで、定年のない仕事を始めたので、人の役に立てる限り働こう、働けば収入もついてくる。死ねば生命保険も多少入り、住宅ローンもチャラになるからいいじゃないかと思うが、カミさんにとってはそう行かないらしい。

病気になって直ぐ死ねればいけど、寝たきりにでもなったらどうするのよ？ハッピーリタイアし、好きなことをしてルンルンしているが、収入がなくなったので、金蔓？のが稼ぎもなく寝込んだりすると困るらしい。少しは僕も役に立ってるんだ！

確かに北欧諸国のように消費税が20%台半ばで、稼ぎの半分以上を税金に持って行かれても年金等福祉の手厚い国では、過剰な貯蓄や保険の必要はない。税金は安くても子育てや病気、長生きのリスクを、大きな不安と共に個人が背負う日本と、どちらがいいのか？政治、国家というものを信用できるかを含め、国民の選択の問題だが。

政府もあてにならない、年金も不安、長生きすれば貯蓄も頼りないというなら、長生きするリスクをシェアする保険を創るのはどうか？平均余命の真ん中まで生きる前提で必要資金を積み立て、早期に死亡した人の残資金は残りの人のためにプール、最後の一人で使い切る保険である。早く亡くなる方も、長寿の人も、不安を抱えたまま長生きするリスクから解放される。もっとも、古今、東西を問わず、人間の究極の願望であった、不老長寿に近い状態を実現した筈の国で、長生きする不幸が語られることが一番の問題であろう。

### 田舎の学校・白神分校報告・・・女優の榎山文枝さんも

東京で農家と提携して、一般の方に農業を学んでいただく「田舎の学校」が今年の6月に続き、この10月にも、田舎の学校白神分校「紅葉・茸狩り編」を開催しました。今回は田中校長のお姉さんの、女優榎山文枝さんも参加、紅葉には少し早かったようですが、郵便局長を一足早く辞め悠々自適の田舎の兄の案内で、白神の秋を味わっていただきました。来年の新緑の季節にも白神分校を開催予定とのことです。以下、大学の後輩でスタッフのIさんや、参加された東大三鷹寮の三木先輩のメールなど、掲載させていただきます。（田舎の学校ホームページ <http://inaka.spo-com.ne.jp>）

Iさんより

おかげさまで、今年も素晴らしい講座となりました。紅葉は残念でしたが、お天気に恵まれ白神の自然をたっぷり堪能できました。（能代市役所の）戎屋さんのご尽力と見事な手腕、参加の皆さんも大満足でした。14日の日曜日は、お兄様ご夫妻の案内で、きのこ採り。今年はきのこが少ないとのことでしたが、ナラタケ、スギエダタケ、スギヒラタケ、コガネタケなどが採れ、みなさん持ち帰りました。「いさり火館」では、奥様や町の女性たちの手づくり郷土料理をご馳走になり、これまたみんな大感激。果ては、お宅にまで押しかけ、あの立派な木の家を見学させていただきました。

それから、前泊組の私たちだけ、（能代の居酒屋）「べらぼう」に行ってきました。ご親戚だそうですね。おいしいものをたくさんいただきましたよ。本当にお世話になりました。お兄様方どうぞよろしくお伝え下さい。それでは、また。

三木彬嗣先輩より

先日ご紹介いただきました、田舎の学校主催の、白神山地の散策に参加させていただきました。思いがけなく、ゆっくりとした楽しい時間を過ごすことができ、久しぶりに心身ともに洗われました。

現地ではいろいろな方にお世話になりましたが、特に、貴方のお兄さんご夫婦に案内されてきのこを探して藪の中を約3時間ほど歩き、きのこや其の他の山の幸を採った時間は楽しい時間でした。昼ごはんには、採ったきのこの味噌汁と、様々な山菜料理を公民館のようなところでご馳走になり、帰りにはお兄さんの豪華でセンスの良い邸宅を拝見させていただきました。こういう世界でしっかりと地に足を下ろして悠々と生きておられる人々の姿を見て感動した次第です。

今日は其の時山で採った、真っ赤な小さい実が房のように着いた実(名前はもう忘れてしまいました)を早速をホワイトリカーに入れて果実酒を仕込みました。出来上がるのが楽しみです。取り急ぎ御礼を申し上げます。

### もう一つの田舎の学校を創りませんか？

Iさんへ

故郷の秋を堪能して頂けたようで、ご同慶の至りです。春夏秋冬と続けられるのもっと楽しいと思います。お手伝いしますよ！波の花飛ぶ日本海でハタハタ漁体験ツアーなんてのもいいと思いますよ！故郷の人間にはウンザリの白神の「冬」も、東京の人には面白い体験となるでしょう！それに秋田の味はやはり、冬です！

春・秋と二度田舎へ行ってきて何を感ぜられたか、一度ゆっくり話す機会を頂けると嬉しいですね。あの環境の中で一度たりとも勉強しなさいと言われることなく、毎日野山を駆け回り、海に潜り、魚釣り、スキーに明け暮れ、漁船に凭れ、切り株に腰掛け、小川に脚浸し、木洩れ陽で本を読み、時に淡い恋をして、気がついたら東大に入っていました。

多分、Iさんの経験とは全く違うとは思いますが、それでも東大には入れるんですよ。お陰で1年浪人したけど、数学を1問も解けなくても、大学への問い合わせの葉書に書いてあったランクはA(1~20点不足)でしたから、25番教室の雰囲気にも飲まれさえしなけりゃ(田舎モノの悲しさですけど)楽勝だった筈なんです(落ちた人間は皆そう思ってる！？隣席で鼻血流してた宝賀氏(大蔵省を卒業して弁護士)は合格でした)。

ともあれ、小さい頃からの勉強漬けは可愛そうですね！もっとも受験競争を煽って大儲けしてる田舎出身の三鷹寮の後輩もいるけど！繰り返し重箱の隅を突付いて教えるような時間の無駄遣いではなく、大自然の中で、自然と親しみながら学ぶもう一つの田舎の学校を創ってみるなんて面白いと思いませんか？

干場様

あんな環境で子供時代を過ごせたなんて、いいですね。春夏秋冬、素晴らしいのですが、こちらもなかなか手が回りません。来年、6月ころ、またおうかがいすることになりそうです。お兄様方、戎屋さんはじめ、地元の方々にもまたお世話になりますが、今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。田中からも、よろしくお伝え下さい、と申しております。朝夕、だいぶ気温が下がってきました。どうぞ、ご自愛下さい。

田舎の学校 I

### 国境なき楽団とマレーシアへ！アップルちゃんと再会！

ホテルに着き世界の恵まれない子供達に楽器を贈り、交流活動が続ける音楽ボランティア、歌手庄野真代さん主宰のNPO法人、「国境なき楽団」(<http://www.gakudan.or.jp>)とこの十月マレーシアへ。ついでに元留学生のアップルちゃんこと、張さんに再会する。

### クアラルンプール空港で級友とすれ違い？

ホテルに着き、風呂から上がると電話が鳴る。クアラルンプールで日系企業に勤める元留学生アップルちゃんかと思ったのだが、同室のKさんからだ。懐かしい声。昨年9月、国境なき楽団のマニラツアーで一緒に以来だ。別便で先に着き、外で果物も買って別室

で皆でおしゃべりしているという。ついバスローブとスリッパで上階へ。懐かしいマヨラー（庄野さんのファン）の面々が酒とつまみ、果物を持ち寄り早々と宴会をしている。

総勢32名。定員オーバーの5名は添乗員なしの別便で降り、クアラルンプール空港で入国手続き。荷物の受取りも一人で、初めての経験。出口に迎えがいるか多少不安だったが、隣席だった若い女性二人も同じツアーと知り、俄然元気が出る？

荷物受取所で駒場の中国語クラスで1年下の、日本郵船の子会社、日本貨物航空の大槻専務と擦れ違う。旅慣れているのだろう、バッグ一つの身軽な格好で通り過ぎる。女性と一緒に一瞬、挨拶すべきか迷う。暫くしてから、遠くで女性が手を振っている。カミさんだったんだ！ホットする。歩いている間に話したのだろう。「ほらあいつだよ！時々通信なんて変なの送って来る、落第ばかりしてたEクラスの1年上の干場だよ！」

### クアラルンプールで焼きソバUFO

クアラルンプールのホテルに着いたら電話すると言いながら、掛け方がわからず電話しなかったので不安だったが、約束の7時半を20分程回り、ホテルのロビーにアップルちゃんが現れる。自分の車で来たが、休日で交通規制が平日と違い、ホテルに入るのに手間取ったという。二人で朝食、会話が弾む。東大で1年勉強、マラヤ大学に戻り更に1年勉強、日系企業で働き始めて2年。月給が3千ML（マレーシアリングgit、1MLは約34円）、年末に1回ボーナスを貰い、親と同居、150万円の国産車をローンで買ったという。

日本のボルトメーカーの営業担当で、ベトナムにも時々行くという。三鷹寮にベトナムの留学生も一緒にいて、事務所でコンパにも一緒に来たことがあるが、その娘と時々会い、ベトナムでの結婚式に招待されているという。卒業後も国境を越え、OB同士の交流が続くのは嬉しい。いつか点が線に、線が面にならないだろうか？

彼女もツアーバスに同乗、一緒に市内観光。初めて！を連発。我々がハトバスで東京見物するようなものか。昼は中国レストラン、ロイヤルチャイナで飲茶。生ビール一杯17MLと高い。ビールもシンハー、バドワイザー等、輸入物だ。回教国で飲酒人口が少ないからか？飲茶は美味しいが絞めの焼ソバが日本のカップ焼ソバの味。これはいただけない。

日本がすっかり好きになったアップルちゃん。来年の旧正月は日本に来て、友人宅で過ごしたいという。三鷹寮にいる時に5、6回奥利根の宝台樹スキー場に連れて行ってやったのだが、ハマッテしまったようだ。スキーもしたいという。一緒に滑るのが楽しみだ！

### ライブハウスでアップルちゃんもステージへ

市内観光とライブショーの合間にアップルちゃんの車でドライブ。マラヤ大学へ。1学年千人程、小振りだが緑が多く建物もゆったり配置、東大本郷キャンパスの様な高層ビルはない。公園で観覧車を初体験。3回12分というが、4回、5回と回るも終らず。次の客を乗せるためか？頂上で暫く停まる。高所恐怖症患者のアマダイは生きた心地がしない。

ライブハウスは百人程の日本人で満杯。KL在住邦人6千の1パーセント以上集まった計算になる。昨年のマニラのホテルでの、庄野真代さんとゴスペラーのハルさんのダイナーショーも良かったが、狭いライブハウスを二階まで鈴なりにしてのライブも素敵だ。団塊世代？の邦人の親父バンドが前座を務め、ハルさんのゴスペル、真代さんの「翔んでイスタンプル」と続く。

日本から参加した国境なき楽団のメンバーも壇上に上がり、タンバリンを叩き、リコーダーを吹きながら全員で合唱。悲しいかな音痴の🐼はこんな時に前に出ていくことができない！まして有名プロ歌手と一緒にでは！代わりにアップルちゃんが日本語で熱唱してくれる。客席もステージも渾然一体となり、音痴の🐼も楽しい。

### ホテルのプールでリラックス

三日目の朝、ペナン島へ移動。高層マンションが林立、工場も多い。デルのパソコン工場等もあり、空港にはフェデックスの輸送機が数機。一大工業地帯でもあるのだ。昼はリゾートホテルの向かいの「屋台村」で、海鮮麺をつまみにタイガービールを飲む。大瓶が15ML。日本人学校の生徒と交流する組が半分、残りも島一番の繁華街、ジョージタウン等に出掛ける。プールに飛び込んだのは🐼一匹だけ。

世界中一緒に旅した海水パンツをペナンの海で濡らす。海は荒い波が砂を巻き、白神山地の麓の浜辺の磯の、澄んだ水の青さに較べると、雲泥の差だ。泳ぐ者もいない。プールで泳いでパラソルの下でiポッドで好きな島倉千代子を聴きながら本を読み、を繰り返してリラックス。夕方近く、交流組、買物組も戻り、一緒にプールに飛び込む若者も。

陽が暮れてロビーに集合、昼と同じ屋台村で庄野さんを囲む。思い思いに5ML程の中・韓・タイ・マレーシア等の屋台料理を数皿ずつ頼み、皆でつまみながら盛上がる。ここで又、駒場の同級生大槻夫妻と会う。隣のホテルに滞在しているという。あらためて正式に挨拶。大槻夫妻は庄野さんとツーショット。更にホテルの部屋で遅くまで延長戦。

### 楽器携え、知的障害者の施設へ

本番の四日目の午前はダウン症の幼児等のデイサービス施設を訪問。保護者と一緒に通って来ると言う。30人も大人の10人程の子供達を囲み、笛を吹き、歌を歌うと、怖がり泣き出す子も。乗りが良くリズムを取ったり、愛敬を振り撒く子も。

昼は近くのカレー店へ。1階は現地人で一杯で2階へ。バナナの皮を皿代わりに、ご飯やカレー、鳥肉や野菜のカレー煮込みを盛り、現地流で右手でこねて食べる。左手はトイレで使うので不潔とされ、食事は右手だ。タイで食べたモチ米と違い、パサパサして巧く口に運べず、結局スプーンを使う。それに激辛だ。タイガービール子瓶が9ML。激辛カレーでカッカする唇を冷やす。

午後は18才以上の知的障害者の施設へ。学齢の子は公的施設でケアされるが、学齢前、学齢後の子供の教育と自立が課題だという。成人の知的障害者の地域生活をサポートし、働く場の提供(織物、ケーキ・キャンドル・石鹸作り等)と生活の場(Independence Living Home)作りを支援をしている。笛を吹き歌を唱い、庄野さんもヒット曲「翔んでイスタンブール」等数曲唱い、子供達も歌と踊りで歓迎。涙が止まらない。年のせいだろうか？

### Asia Community Centre (ACS)

朝訪ねたFirst Step Centre(早期療育センター)と、午後のStepping Stone Support Centre(地域生活支援センター)は1997年からペナン島で地域福祉を实践するNGOのACSが運営している。ACSは訪問した二つの施設の他に障害者の乗馬クラブ、家族や近隣NGOスタッフの研修、国際交流活動、地域リソースセンターなどの役割も担っている。

ACSを主宰しているのが川井さんという日本女性だ。一緒に施設を案内してくれた。年恰好は🍀と同じくらいだろうか？マレーシアに進出している日本企業と日本人の寄付で運営している。昨年、庄野さんと訪問したマニラでも、ケニアでも、女性を主に、日本人のボランティアがその地域の孤児や障害者等、恵まれぬ子供達のために活躍していた。

かって支援される立場だった日本人が、今、世界中で活躍している。1ドル360円の時代に、海外へ出ることが夢だった日本人の一人として、日本人ボランティアと連携して今、ここに居る。かって「世界の農村が世界の都市を包囲する！」「全世界を獲得しよう！」と叫んだ自分が、世界の農村、発展途上国のその現場に立っている！目的は同じでも、もう一つの方法を実践する人達と一緒に！そんな幾つもの想いが交錯した涙だったのだろうか？（ACS：<http://www5f.biglobe.ne.jp/ace-jps/index.htm>）

### 商談？成立！真代さん資生堂サロンへ！

資生堂の仕事をしている駒場以来の悪友、編集企画会社前田和男社長から庄野さんの資生堂サロンへの出演依頼がある。ギャラは安い、多分広報誌「花椿」に記事が載り、「国境なき楽団」の宣伝にもなる。社会貢献活動（CSR）として資生堂は色々なボランティア活動を応援しているので、資金的援助も期待可能だ、上にもつなぐと前田君。二人の間を取り持ち、ペナンで庄野さんからOKを貰う。

9月に帰任した三鷹寮の1年先輩の宮村智前ケニア大使と庄野さんを繋ぎ、ナイロビの施設に楽器を送る、「翔んでケニア」プロジェクトが進んでいる。楽器集めも進み、ケニアの良港モンバサまでは同じく三鷹寮で1年先輩の宮原耕治さんが社長の日本郵船に、CSRの一環で無料で運んでもらう。ナイロビまでの楽器の陸送が次の問題だが、資生堂に手伝えて貰えると嬉しい。ここは前田君と庄野さんに頑張って貰おう。

ケニア政府から文化使節としての招待があれば、ナイロビでのコンサートと「国境なき楽団」のケニアツアーもできると、庄野さん。宮村先輩の助けも借り、ケニアツアーを是非実現したい！ヘミングウェイの名作「キリマンジャロの雪」の舞台になったマサイマラのサファリロッジの、文豪が毎晩グラスを傾け、酔い潰れたたというバーで、庄野さんのライブでも聴けたら最高だ！夢は翔んでケニア！

### 希望のケニア、その光と陰・・・団塊政策研究ネットワーク特別講演会のご案内

講師 宮村 智 前ケニア大使

ケニヤッタに率いられ、黄金の1960年代の先頭を切り独立したケニア。後を追って独立したサハラ以南のアフリカ諸国の多くが、腐敗と独裁、経済破綻と内戦の泥沼で苦しむ中、悪いながらも経済的に小康状態、民主的選挙を経て大統領も交代と政治的にも安定。

そんなケニアで最大食品企業は、4千人を雇用する日本人佐藤さん経営のナッツ会社。栄養指導や孤児・婦人の授産施設などでも日本人ボランティアが大活躍。ヨーロッパ宗主国が果たせぬアフリカの自立に、日本の果たすべき役割とは？

サファリとキリマンジャロの国に3年間駐在した三鷹寮1年先輩の、宮村智前ケニア大使（S40年津高卒、44年東大法卒・大蔵入省、NTT常務を経てケニア大使）に、現地映像も駆使して話して頂きます。尚、東大三鷹クラブでは2月7日（木）の第76回定例懇談会の講師を宮村先輩にお願い、快諾を得ています。

日 時：11月20日（火）18:00 受付開始 18:30 講演開始  
場 所：学士会館本館306号室（千代田区神田錦町3-28 03-3292-5931）  
参加費：更新会員2000円 一般3000円（軽食付き） 終了後：懇親会あり  
申込先：団塊政策研究ネットワーク事務局 若山宏（メール又はfaxで）  
tel03-5228-4960 fax03-5228-1715 携帯090-8452-2261 [w-1942@ph.highway.ne.jp](mailto:w-1942@ph.highway.ne.jp)

### オリンピックに向け進む規制と噴出するひずみ

緑の地球ネットワーク（GEN：山西省大同市で黄土高原緑化を進めるNPO、<http://homepage3.nifty.com/gentree/>）高見邦雄事務局長の、ディープチャイナレポートを勝手？転載します。

中国政府は「今年1月1日からオリンピックの終了まで、外国記者の中国における取材活動の規制を緩和するとともに、特定の者に取材を行う場合、関係単位の同意を事前に得る必要はない」と対外的には発表。しかしこの夏、ニューヨーク在住の日本人フリーカメラマンが毎日新聞の特集記事取材のため、苑西庄村に入ったところ、地元の郷の幹部から厳しい取材規制を受けました。カメラマンが来た2?3日前に「外国人記者に貧しい農村を取材させてはならない」とお達しがあったそう。特にアメリカで反中報道がひどいという認識があるらしく、このカメラマンが「ニューヨーク在住」というのがよくなかったようですが・・・。

気象観測への規制も強化されています。一昨年、日本の専門家が新疆でGPSでの測量調査を行ない、8万元の罰金刑を課せられ、国外追放になる事件がありました。その後、中国政府は、今年一月に外国人が関与する無許可の気象観測が国家機密の違法入手に当たるとして禁止する規則を施行、8月上旬には新たな通知で、外国人が関わる気象観測やデータの管理を一段と強めるよう各地方当局に求めました。霊丘自然植物園では、一昨年より雨量計、水量計を設置していますが、8月上旬のお達し後に、国家安全局、環境保護局などが自然植物園に3回調査に入り、気象観測は暫時停止せざるを得なくなりました。許可制にするそうで、とりあえず正式に申請を行い、推移を見守ります。

又、大同でも各方面で農民とのトラブルが相次いでいます。土地の強制収用に抗議して、天鎮県で農民が列車を止める抗議行動等が起こったりし、GENプロジェクトも例外ではありません。今年から本格始動した新実験果樹園「かけはしの森」の敷地内にお墓があり、墓に配慮し、整地、植栽作業を行いましたが、「風水をこわした」という理由で抗議を受け、訴訟に発展。当初32万元（約500万円）賠償請求され、解決までに2?3年かかるのも覚悟しましたが、大同事務所職員の説得工作等により、結局5,720元（約9万円）払い、墓を移転することで早期決着しました。霊丘自然植物園に対しても、麓の南庄村の幹部の妨害があります。焦って解決しようとせず、しばらく状況を見守りたいと思います。

政府は農村をコントロールできなくなっているようで、どこも農民のこのような動きを抑えることができません。農民も、都市との余りにも激しい格差を目の当たりにし、自分の生活圏に少しでもお金を得られるとっかかりがあれば、そのチャンスを逃さないといった雰囲気です。社会のひずみが、このような形で農村の不満として噴出しているようです。

日清紡・変化と創造の経営・・・東大三鷹クラブ第75回定例懇談会のご案内

日清紡社長岩下俊士君（S37年入寮）は、不思議な魅力をもった男だ。人によっては、「とらえどころの無い茫洋とした男」、あるいは「生き方の一貫した不器用な男」と映るかもしれない。若い頃から、自己顕示や権力指向の喧騒から遠く離れ、静かに座っていた。その彼が、日清紡という大きな会社の社長になるなんて、真っ先に耳を疑った一人である。

昭和37年10月、寮委員長に就任した私は、第27期寮委員会を組織するに当り、寮内を見渡して適切な人物を探していた。その中で、彼を推薦する声を幾つか聞いた。授業に出ることもなく、寮で毎晩大酒を飲み朝まで麻雀をやっていた。しかし、人物を高く評価する声は私も耳にしていた。彼には売店委員（1名）になってもらい売店経営を全て任せさせた。彼は売店の従業員を大事にし、通常時間帯の経営はきわめて順調だった。しかし、深夜によからぬ麻雀仲間たちが鍵を壊して闖入、食料品などを掻っ攫っていくので、経営は赤字だったと思う。寮委員会のメンバーは、今年も11月に神戸に集合する。確か昨年5月の福島旅行で、社長内定直後の岩下君が、皆の祝福の言葉に対し、「何かの間違いであってほしい」、「朝起きて、社長になってくれと言われたのは、悪い夢を見ていたのだったと、今も思いたいよ」と、言っていたのを思い出す。

ところで昔から、彼が慌てたり怒ったりするのを見た記憶がない。冗談で場の雰囲気や和らげようとするなど、やさしい気配りを見せる。照れ屋でいながら反骨心をもっている。決して饒舌ではないが、内にしっかりした考えをもっている。彼の好きな言葉は「あがつてナンボ」である、と聞いている。これは麻雀用語ではあるが、能書きより実行を尊重する、誰にもわかりやすい言葉である。「選択」と「集中」によって、企業の活性化を図ろうとする、彼の経営思想にも通ずると思う。創業100周年を迎えた日清紡の「変化と創造の経営」を見守りたい。（文責：昭和37年入寮竹内舜哉）

日時：平成19年12月3日（月） 18時30分～21時

場所：学生会館本館203号室（千代田区神田錦町3-28 03-3292-5931）

会費：5000円（会場費、夕食代・ビール代、通信費など込み）

申込先：平賀・干場 Fax 03-5689-8192 電話 03-5689-8182

（有）ティエフネットワーク Email: [tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp](mailto:tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp)

### 恒例！三鷹市民と三鷹国際学生宿舎生との交流会のお知らせ

12月8日（土）11時より、東大三鷹国際学生宿舎（旧三鷹寮）で、東大教養学部総合文化研究科佐藤安信教授による講演「持続可能な平和の構築」と留学生によるパフォーマンスを交えた懇親パーティーが行われます。他、三鷹クラブのメンバーも例年、数名参加します。この機会に新しい三鷹寮をご覧になり、往時を偲ぶのは如何でしょうか？

### 同期会をしませんか？お手伝いします！

12月5日（水）6時半より皇居前パレスホテルでS39年入寮同期会（連絡先：久保田康史弁護士、電話03-3501-2651）が行われます。春には40・41年、秋には41・42・43年合同同期会が行われています。名簿は事務局が用意致します。会場の手配も致します。文の弁護士から理の医者まで、三鷹クラブは人材豊富。困った時頼りになるのは同期生？！久しぶりに旧交を暖めては如何でしょうか？スキーを一緒にする方も連絡下さい！再見！